



2018年4月15日

編集・発行 NPO法人 しんじょうよりあい
〒919-0522 福井県坂井市坂井町上新庄51-35
tel . fax 0776-67-6544

介護認定された方も そうでない方も 一緒に参加しませんか。

あなたは どんな老後を望みますか。今までできたことが できなくなった時 いつもと変わらない暮らしが どこかで違ってくる。そんなとき 私たちは「古い」を感じます。

自分自身の「古い」を正しく見つめ いかに 楽しい暮らしを送ることができるか 一緒に考えませんか。できなくなったことを嘆く前に 今できることの喜びを大切にしましょう。

きっと 新しい明日が見えてきますよ。

爆笑のオレオレ詐欺防止寸劇

みなさん!オレオレ詐欺対策は大丈夫ですか?

今回の館サロンは、さかい警察署のみなさんによる、お芝居でした。



懐かしい風情 川流して花見



大聖寺川岸を車窓から

よいあいの4月の様子

石川県加賀市を流れる大聖寺川は、山中温泉から加賀市内を通り、塩屋で北方湖と合流して日本海に注ぎます。

福井も以前は「細呂木から舟で吉崎参り」をしたそうですが、加賀地方の皆さんも、新婚旅行にと「六間掘から川舟に乗って吉崎詣で」に行かれたそうです。

写真の舟の右側には、大聖寺藩主の茶室である重要文化財「長流亭」がありますが、丁度この辺りが桜の名所でもあります。

川岸に立って舟を眺めていると、舟頭さんが生歌を歌いながら、櫂を漕いでいきます。

お花見に参加した利用者の方も、素敵なところがこんな近くにあったんやねえと喜んでくださいました。

お話では、今回が結成2回目の公演とか・・・。

大ベテランのボケ役?木部駐在所の方が、春江の若手イケ面2名をアドリブでかき回しながら、日々進化している詐欺の手口や 交通事故の注意点、高齢になってからの車との付き合い方などを、劇を通して面白おかしく伝えて下さいました。トラブルが起きても直ぐにお金があることはありません。

怪しい電話にはくれぐれも気をつけてください。丸岡署のみなさん、ありがとうございました。



いつも利用者の方々と共に
そしていつか利用者になる日のため



2018年6月の予定



老いを楽しむ方法を
いっしょに考えてみませんか？

ついつい鏡を見るのがいやになります。時折TVの「くすみやたるみが解消しますよ！」という化粧品のCMにいつしか見入っている自分にあきれます。七十路も越えたと日に日に老いの一途をたどっているなあ、というのが実感です。

50年も昔の頃、取り柄のない自分に高校の恩師は言いました「お前たちのように生まれながらの不美人はしょうがない、親を恨むでない、自分で顔を作れ！知的美人になれ！」しっかりけなされながらも、妙に頷いていた自分たちがいました。

そう みんなに必ず来る「老い」ならば 楽しく「老い」を迎える準備をしませんか？

自分もしたいことがいっぱいありました。そろそろ手をつけようかな？と思った頃には 体力が無いことに気がついて啞然となったものでした。



しかし捨てるのが惜しくて 恨めしげに見ていたのですが 留守の間に娘たちが惜しげもなくすっかり処分してしまったのです。

落ち込んでいる様子を笑いながら見ていた娘たちは 「歳を考えてよ！歳に見合ったものがあるでしょ！歳相応の世界観を持たないと老けるわよ」出来なくなったことに 惨めたらしくしがみつくよりも、楽しく出来るものを探せというのです。「(あなたには)元気に行動できる時間はもう限られているんだから・・・」とも。

ちょっと目が覚めました。七十歳にして新たな趣味探しを始めたのです。誰のものでもない自分の時間を楽しく大事に使おうじゃないかと。え？鏡ですか？見ますよ、でも顔は瞬時、全身を写して 猫背を直したいなと 毎日見えています。だって 猫背で陰気なおばあちゃんでは 孫にもそっぽを向かれてしまいますからね。



日	月	火	水	木	金	土
			イルカde 夕暮市		1	2
					新庄 デイ	大関 デイ
3	4	5	6	7	8	9
		新庄 デイ			新庄 デイ	大関 デイ
10	11	12	13	14	15	16
		新庄 デイ	イルカ de ランチ	館サロン	新庄 デイ	大関 デイ
17	18	19	20	21	22	23
		新庄 デイ		夕暮市	新庄 デイ	大関デイ ワンコイン
24	25	26	27	28	29	30
		新庄 デイ			新庄 デイ	

ひとりごと...

林家こん平さんの心で

かつての笑点で「私には難しいことは分からないんですが・・・」と、当時の楽太郎さん（現2代目円楽）の難しい時事話を受けて、親しみやすいご挨拶をされるのが、林家こん平さんでした。

今でも当時の笑点が「BS笑点なつかし版」として放送されています。

若い方には「こぶ平さんの師匠で、24時間TVのマラソンのときに、応援で車椅子で出た」という印象だと思います。

昨年も、今年に入ってから、各地で事件・事故が相次ぎ、戦争の一手手前ではと思うことも多々あります。

福井風に言うと世界中に「わけなし」が増えたということでしょうか。

地球全体が上手く回っていないといえますか。

そんな時代だからこそ、こん平さんの「人を温かくさせる心」を忘れずに、自分とそれを取り巻く環境について考え直してみたいと思っています。

「大地を人のために」と書いてあるダンプカーを見ると、複雑な気持ちになる (と)